

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

矢田西小	学校	児童数	48
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.13	18.96	31.41	44.96	47.81	9.44	155.31	21.00	52.63
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	13.83	19.00	34.37	40.17	33.95	9.75	144.32	15.79	53.44
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

大阪市平均・全国平均との比較では、体力合計点では男子はどちらも上回り、女子は大阪市平均を上回った。種目別にみると、男女とも反復横跳び、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げで大阪市平均・全国平均を上回り、走る・跳ぶ・投げるという基本的な運動能力や敏捷性に優れていることが分かった。一方で、握力、長座体前屈は男女ともに大阪市平均・全国平均を下回った。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」については、男女ともに100%の児童が「好き」あるいは「やや好き」と肯定的な回答をしており、大阪市平均・全国平均を大きく上回っている。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が4.0%、女子が5.6%で運動時間の短い児童の割合も大阪市平均・全国平均より少ないことが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、毎年2学期にはランニング記録会とそれにともなったランニング集会、3学期にはなわとび週間などに取り組んできた。ランニング集会やなわとび集会の時期になると自発的に運動場を走ったり、なわとびをしたりしている児童も見られる。また各学年・学級においても休み時間にみんなで遊ぶ機会やペア学年での遊びの機会を設けている。多くの先生が休み時間に児童と一緒に遊ぶなど、元気に遊ぶことが日常化している。

また、本校児童は、運動やスポーツへの関心は高く、運動の日常化は概ねできているが、調査結果から、握力や上体起こし、長座体前屈といった、筋力、柔軟性に課題があることが分かった。休み時間や放課後など、児童が自発的に運動に親しむだけでなく、これらの課題を改善できるような体育科の学習に関する指導方法や教材・教具の工夫、指導計画の検討を行う必要がある。